

実社会対応プログラム(公募型研究テーマ)

◆課題(研究領域):「観光の人文・社会科学的深化による地域力の創出」

◆研究テーマ:「国境観光:地域を創るボーダースタディーズ」

研究期間:H25.10~H27.9

委託費総額:10,000千円

<研究代表者>

岩下明裕:北海道大学

スラブ・ユーラシア研究センター／教授

<専門分野>

境界研究(ボーダースタディーズ)

<Webページ>

<http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/ubrij/>

<研究目的・概要>

日本の国境地域は観光学にとっての潜在性を活かしきれず、その途上にある。



地域還元型フィールド研究の成果をもとに地域振興(国境リソースを活用したまちおこし)の提言に踏み込む。

1. 研究者が現場に入る・世界の事例と比較する:自治体の振興部局、観光協会などとの協働
2. 現地シンクタンク、観光協会、観光業界、キャリアなどが連携し、観光資源を発掘
3. 国境地域を再生する:日本のなかでモデル化し、世界の国境観光と連結
4. 国境地域間連携と相互ネットワークの展開



日本の国境離島及び自治体の地域力創出するとともに、観光学の人文・社会系研究分野での深化に寄与する。

<研究計画の特徴>

- 国境地域に着目
我が国の「観光立国」を目指す施策において都市部への外国人誘致に関する議論が多いなか、国境地域に着目。
- ボーダー・エコツーリズム
隣国との環境問題にも着目、自治体との連携し、国境観光に環境保全や教育などを加えたプランを柱のひとつとする。

<目標とする研究成果>

地域振興の具体的提言を行い、観光を通じた地域力強化の新たなモデルを作る。

- ・個別の国境観光の成果を束ね、日本型モデルを抽出することで、世界の研究と実践の文脈のなかで、日本のボーダーツーリズムを確立し、内外に発信する。
- ・自治体の地域再生部局、観光ビジネス業界、まちおこしに関わるNPO諸団体の今後の実践をも主導する。